

2014年度

第54回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2014年6月28日（土）～29日（日）

会場：尚絅学院大学（4号館3F・328教室）

☆第一日目 6月28日（土）

I 新理事候補者会議（11時30分～12時）

II 新旧合同理事会（12時～12時50分）

III 開会の辞（12時55分～） 日本社会学史学会会長 三上剛史

IV 一般研究報告1（13時～14時15分） 司会 左古輝人（首都大学東京）

①外山正一の「社交」概念—社会進化論との関係において— 遠山俊介（神戸大学）

②戦時下の社会学者が挑んだ「没価値性」の超克

—湯村栄一を事例に—

徳山弓恵（日本大学）

③鶴見俊輔「限界芸術」論の起こりと課題

寺田征也（明星大学）

V 一般研究報告2（14時25分～15時40分） 司会 澤井 敦（慶応義塾大学）

④シュンペーターとパーソンズ—社会階級をめぐる収斂— 大黒正伸（創価大学）

⑤システム信頼の社会学的地平

加藤源太郎（プール学院大学）

⑥近代社会と加速化—H・Rosaの社会学理論—

伊藤賢一（群馬大学）

VI 一般研究報告3（15時50分～16時40分） 司会 梅澤 精（新潟産業大学）

⑦わが孫たちの経済的不可能性

—ケインズの予言は何故外れたのか—

小谷 敏（大妻女子大学）

⑧社会学起源論からみたジンメル・ヴェーバー・ルカーチ

—『ポストモダン状況論—現代社会（リーマンショック・

福島以後）の基礎理論—』—

石塚省二（東京情報大学）

VII 総会・表彰式（16時40分～17時10分）

VIII 懇親会（18時～20時）

《パレス平安》無料バス迎車

☆第二日目 6月29日(日)

IX シンポジウム (11時～15時15分)

共通テーマ 《社会学と言語・メディア》

司会 荻野昌弘 (関西学院大学)

小谷 敏 (大妻女子大学)

●報告1 共同体の外に立つ

—「日本の社会学を英語で伝えること」をめぐる—

奥村 隆 (立教大学)

●報告2 映像を介して社会(学)を考える

石田佐恵子 (大阪市立大学)

●報告3 同時性の誇張と圧縮

—音楽の言語性と身体性:「社会学と言語・メディア」に寄せて—

森 元孝 (早稲田大学)

●討論者1 三谷武司 (東京大学)

●討論者2 茨木正治 (東京情報大学)

趣旨説明 (11時～11時10分)

報告 (11時10分～12時25分)

休憩 (12時25分～13時25分)

討論 (13時25分～13時55分)

リプライ (13時55分～14時15分)

フロア・総括 (14時15分～15時15分)

【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は25分（報告15分、質疑応答10分）
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各15分
- 大会参加費 一般会員2,000円 学生会員1,000円（非学生会員含む）
- 懇親会費 一般会員4,000円
-
- 大会・総会会場 4号館3F・4-328教室
- 会員控え室 4号館3F・4-306教室
- 理事会会場 4号館3F・4-307教室
- 懇親会会場 仙台市内「パレス平安」(大学より無料の送迎バスが出ます)
-
- 論文抜刷 1週間前までに事務局へ文書を持って必ずお申し出ください
書籍等扱い 大会当日の申し込みは一切お受けできません。厳守ください
- コピーについて コピーは個人の責任でお願いします。大会開催校および事務局では、一切のコピーサービスをお断り申し上げます
-
- 開催校所在地 〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1
(大会本部) 尚絅学院大学総合人間科学部太田健児研究室
TEL 022-381-3406 (研究室直通)
-
- 飲食施設 大学周辺に飲食店・コンビニ等はありません。土曜日は大学生協が営業しており、軽食を販売しております。日曜日はお弁当の予約販売をおこないません。それ以外は、各自でご用意をお願いします
-
- 交通機関 最寄り交通機関および学内案内は右図参照
校舎案内 (詳細は、本学会HPおよび尚絅学院大学HPをご覧ください)
29日(日)の大会終了後、仙台空港および仙台駅への無料の直行バスをご用意いたします

☆日本社会史学会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部社会学研究室
TEL 03-5317-8978 (庶務担当直通)
FAX 03-5317-9423 (学科研究室)

<http://www.jashs.jp/>

(電話でのお問い合わせは、水・木)